



# 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



2022年11月10日

上場会社名 ぴあ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4337 URL <https://corporate.pia.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 矢内 廣  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役コーポレート担当 (氏名) 吉澤 保幸 TEL 03-5774-5278  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	15,600	59.7	440	—	390	—	1,029	—
2022年3月期第2四半期	9,771	—	△1,754	—	△1,740	—	△1,729	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 1,035百万円 (—%) 2022年3月期第2四半期 △1,731百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	67.47	—
2022年3月期第2四半期	△115.25	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	70,627	3,896	5.5
2022年3月期	64,598	2,807	4.3

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 3,896百万円 2022年3月期 2,807百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無  
 2023年3月期の配当予想につきましては、現時点で未定としています。

## 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,000	35.5	800	—	600	—	1,300	—	85.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社 （社名） 、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、決算短信（添付資料）9 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	15,346,513株	2022年3月期	15,346,513株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	85,396株	2022年3月期	96,430株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	15,255,283株	2022年3月期2Q	15,011,308株

（注）株主資本において自己株式として計上されている役員株式給付信託（BBT）が保有する当社株式は、1株当たり当期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、決算短信（添付資料）3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外景気の下振れや円安の加速が国内景気に及ぼすリスクには注視すべきものの、新型コロナウイルス感染症対策や各種政策の効果により経済活動の正常化が進み、景気は緩やかに持ち直しております。特に当社が事業基盤とする国内レジャー・エンタテインメント市場は、多くのイベントが収容率100%の開催に転じ、外国人の入国規制の緩和等を受け来日公演も増加する等、復調に転じています。

こうした状況下、当第2四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、第1四半期に続き、音楽公演の全国ツアーや大規模フェス、プロスポーツの国際大会等の大型案件が続々と開催され、市場の回復に加え、獲得案件数の増加、公演ごとの単価が上昇したことにより、チケット販売も好調に推移しました。加えて、ぴあアリーナMMの稼働日数が増加傾向にあること、出版においては、前期商品が引き続き好調であることにより、「収益認識に関する会計基準」を適用しなかった場合の売上高は960億円規模となり、過去最高の2018年度第2四半期累計期間の売上高950億68百万円を上回る水準となりました。また、2022年8月12日の「連結子会社の異動（株式譲渡）及び特別利益の計上に関するお知らせ」の通り、当社の連結子会社であるぴあネクストスコープ株式会社について、当社保有株式の一部を株式会社朝日新聞社及び日本アジア投資株式会社に譲渡したことに伴い、当第2四半期連結累計期間において、6億78百万円を関係会社株式売却益として特別利益に計上しております(株式の譲渡に伴い、社名も「ぴあ朝日ネクストスコープ株式会社」に変更されました)。こうした背景を受け、借入金の返済も順調に進捗するとともに、現預金残高も246億円を超えて安定的に推移しております。

以上の結果、当社グループの第2四半期の連結業績は、売上高156億円(前年同四半期比159.7%)、営業利益4億40百万円(前年同四半期は営業損失17億54百万円)、経常利益3億90百万円(前年同四半期は経常損失17億40百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益10億29百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失17億29百万円)となりました。

売上に貢献した主なイベントや商品は次のとおりであります。

#### <イベント>

- ・プロ野球公式戦
- ・「Mr. Children」
- ・「リポビタンDチャレンジカップ2022」
- ・「LADY GAGA」
- ・「Perfume」
- ・「Maroon5」
- ・「SEKAI NO OWARI」
- ・「ROCK IN JAPAN FES2022」
- ・「J01」
- ・「劇団☆新感線」
- ・「UVERworld」
- ・「Fantasy on Ice 2022」
- ・「WILD BUNCH FEST. 2022」

#### <商品>

- ・「ジェイソン流お金の増やし方」

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、706億27百万円となり、前連結会計年度末と比較して60億28百万円増加いたしました。流動資産は473億13百万円(前連結会計年度末比44億61百万円増)となりました。変動の主なものは、現金及び預金の増加(同2億95百万円)であります。固定資産は233億13百万円(前連結会計年度末比15億67百万円増)となりました。変動の主なものは、ソフトウェアの取得によるものです。

負債は、667億30百万円となり、前連結会計年度末と比較して49億39百万円増加いたしました。流動負債は443億28百万円(前連結会計年度末比55億95百万円増)となりました。変動の主なものは、買掛金の増加(同67億38百万円)、短期借入金の減少(同25億円)であります。固定負債は224億2百万円(前連結会計年度末比6億56百万円減)となりました。変動の主なものは、長期借入金の減少(同6億57百万円)であります。

純資産は、38億96百万円となり、前連結会計年度末と比較して10億89百万円増加いたしました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が10億29百万円増加したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して2億95百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末は246億57百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは57億55百万円の収入(前年同四半期は47億67百万円の収入)となりました。この主要因は、売上の漸次増による仕入債務の増加が66億83百万円であったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは23億19百万円の支出(前年同四半期は15億80百万円の支出)となりました。この主要因は、有形固定資産の取得による支出が12億68百万円、無形固定資産の取得による支出が14億3百万円であったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは31億40百万円の支出(前年同四半期は7億22百万円の支出)となりました。この主要因は、短期借入金の返済による支出が25億円、長期借入金の返済による支出が6億57百万円であったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年8月12日に公表しました、2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年11月10日に修正を行っております。詳細については、2022年11月10日発表の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	24,361	24,657
売掛金	15,716	18,498
商品及び製品	67	43
仕掛品	4	8
原材料及び貯蔵品	7	7
その他	2,744	4,158
貸倒引当金	△49	△59
流動資産合計	42,852	47,313
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,811	11,974
工具、器具及び備品（純額）	423	402
土地	6	724
その他（純額）	18	14
有形固定資産合計	12,258	13,116
無形固定資産		
ソフトウェア	2,505	2,196
ソフトウェア仮勘定	2,955	3,689
その他	77	78
無形固定資産合計	5,537	5,964
投資その他の資産		
投資有価証券	975	1,332
その他	3,410	3,334
貸倒引当金	△435	△433
投資その他の資産合計	3,949	4,233
固定資産合計	21,746	23,313
資産合計	64,598	70,627

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	28,749	35,488
短期借入金	2,500	—
1年内返済予定の長期借入金	1,315	1,315
未払金	2,178	2,705
未払法人税等	244	106
賞与引当金	70	13
新型コロナウイルス関連損失引当金	22	9
その他	3,652	4,691
流動負債合計	38,732	44,328
固定負債		
長期借入金	21,225	20,567
株式給付引当金	179	127
退職給付に係る負債	98	100
資産除去債務	1,211	1,278
その他	343	329
固定負債合計	23,058	22,402
負債合計	61,791	66,730
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,942	5,942
資本剰余金	2,105	2,108
利益剰余金	△4,999	△3,970
自己株式	△216	△166
株主資本合計	2,831	3,914
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11	9
為替換算調整勘定	△40	△31
退職給付に係る調整累計額	5	4
その他の包括利益累計額合計	△23	△17
純資産合計	2,807	3,896
負債純資産合計	64,598	70,627

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	9,771	15,600
売上原価	7,115	9,883
売上総利益	2,656	5,717
販売費及び一般管理費	4,410	5,277
営業利益又は営業損失(△)	△1,754	440
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	8	8
持分法による投資利益	—	2
諸債務整理益	—	22
助成金収入	280	60
その他	6	2
営業外収益合計	295	96
営業外費用		
支払利息	187	129
持分法による投資損失	55	—
その他	37	17
営業外費用合計	280	146
経常利益又は経常損失(△)	△1,740	390
特別利益		
関係会社株式売却益	—	678
特別利益合計	—	678
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,740	1,069
法人税等	△6	39
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,733	1,029
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,729	1,029

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,733	1,029
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3	△2
退職給付に係る調整額	1	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	3	8
その他の包括利益合計	1	5
四半期包括利益	△1,731	1,035
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,728	1,035
非支配株主に係る四半期包括利益	△3	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,740	1,069
減価償却費	1,326	1,125
賞与引当金の増減額(△は減少)	—	△57
新型コロナウイルス関連損失引当金の増減額(△は減少)	△51	△13
貸倒引当金の増減額(△は減少)	12	7
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	2	1
株式給付引当金の増減額(△は減少)	—	△52
受取利息及び受取配当金	△8	△9
支払利息	187	129
助成金収入	△280	△60
持分法による投資損益(△は益)	55	△2
関係会社株式売却損益(△は益)	—	△678
売上債権の増減額(△は増加)	593	△2,777
棚卸資産の増減額(△は増加)	21	20
仕入債務の増減額(△は減少)	3,567	6,683
未払金の増減額(△は減少)	98	859
前受金の増減額(△は減少)	979	1,435
前渡金の増減額(△は増加)	△138	△144
立替金の増減額(△は増加)	△644	△417
その他	732	△1,129
小計	4,712	5,990
利息及び配当金の受取額	8	9
利息の支払額	△194	△122
助成金の受取額	234	27
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	6	△149
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,767	5,755
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△27	△1,268
無形固定資産の取得による支出	△1,519	△1,403
関係会社株式の取得による支出	—	△224
長期前払費用の取得による支出	△10	△12
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	585
その他	△22	5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,580	△2,319
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△2,500	△2,500
株式の発行による収入	1,999	—
長期借入金の返済による支出	△157	△657
自己株式の処分による収入	—	20
配当金の支払額	△0	△0
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△60	—
その他	△2	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△722	△3,140
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,465	295
現金及び現金同等物の期首残高	15,135	24,361
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,601	24,657

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、一部の連結子会社を除き、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

I 前第2四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）

当社グループは単一の報告セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

当社グループは単一の報告セグメントであるため、記載を省略しております。